

令和 7 年度(令和 7 年 4 月入学)

兵庫県立大学大学院
理学研究科(物質科学専攻)
(博士前期・後期課程)

社会人学生募集要項

【連絡先】

郵便番号 678-1297

兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号

兵庫県立大学播磨理学キャンパス

経営部学務課

電話(0791)58-0102(直通)

令和 7 年度(4 月入学)
兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
(博士前期課程)
社会人学生募集要項

本大学院理学研究科(物質科学専攻)においては、下記の要領により令和 7 年度(令和 7 年 4 月入学)の入学者を募集します。

1 募集人員

物質科学専攻 若干名

2 出願資格

企業・官庁等に在職している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該企業・官庁等から推薦を受けた者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者

- (8) 文部科学大臣の指定した者（令和 7 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者を含む。）
- (9) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者
- (10) 大学に 3 年以上在学した者で本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
(下記〔注 1〕～〔注 4〕を参照)
- (11) 外国において学校教育における 15 年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了した者又は我が国において外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本研究科において、所定の単位を優秀な成績で修得したものと認められた者
- (12) 本研究科において、出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 22 歳に達する者（下記〔注 5〕を参照）

〔注 1〕 出願資格(10)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行うので、該当者は、あらかじめ播磨理学キャンパス経営部学務課へ申し出て、次の「資格審査書類」を令和 6 年 6 月 26 日（水）までに提出すること。
なおこの場合は、資格審査が終了するまで出願書類の受理を保留する。

ア 志望調書 …………… 本学所定の用紙
イ 在学大学長又は学部長からの「推薦書」 …… 様式は任意

〔注 2〕 出願資格(10)の資格審査の対象となる者の要件は、「在学期間 3 年以上」のほかに次の 2 点とする。

ア 令和 6 年 3 月末（2 年次末）までに、当該志願者の所属学科（これに相当するものを含む。）における成績順位が上位約 5%以内であり、かつ修得単位数が 95 単位以上であること。

イ 令和 7 年 3 月末（3 年次末）までに、専門教育科目の単位を 80 単位以上、並びに卒業に必要な一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の単位を修得見込みであること。
なお、入学試験に合格した後に、これらの単位を修得することが出来ないことが確定した場合には、入学を取り消す。

〔注 3〕 「在学期間 3 年」の中に休学期間は、含めない。ただし、在学留学制度などを利用して別の大学に在学した期間は、在学期間とする。

〔注 4〕 出願資格(10)によって入学した者の学部学生としての身分は退学となり、大学の学部卒業が要件となっている各種試験では受験資格がないことになる。

〔注 5〕 出願資格(12)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を必要とするので、該当者は、あらかじめ播磨理学キャンパス経営部学務課へ申し出て、「資格審査書類」（別途指示する。）を令和 6 年 6 月 26 日（水）までに提出すること。
なお、この場合は、資格審査が終了するまで出願書類の受理を保留する。

3 出願条件

出願者は、希望する研究指導教授とあらかじめ協議のうえ出願すること。

4 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考
①入学願書 (写真票、受験票を含む。)	本学所定の用紙を使用し、写真票及び受験票に写真を貼付のこと。
②卒業証明書	様式は任意
③受験許可書	本学所定の用紙を使用し、企業・官庁等の所属長が作成したもの。
④成績証明書	最終学歴に係る大学等のもの。様式は任意
⑤志望理由書(英文)	本学所定の用紙
⑥研究計画書	本学所定の用紙
⑦業務報告書	卒業論文、一般研究論文等を有する者がそれらについて記したもの。様式は任意
⑧業務報告書	これまでに在籍した企業、官庁等における研究、技術関係業務の内容について記したもの。様式は任意
⑨受験票等返送用封筒	定型封筒に郵便番号、住所及び氏名を記入し、344円分の切手を貼付すること。
⑩入学考査料	30,000円 ゆうちょ銀行が令和6年7月1日以降に振り出した「普通為替証書」による。ただし、証書には何も記入しないこと。
⑪「入学手続書類」送付用封筒(角2号)	封筒に、送付を希望する住所、氏名(本学学生については学生番号及び講座名を含む)を記入する。切手は貼付不要。

5 選抜方法

入学の選考は、口述試験、面接試験及び書類審査(英文の志望理由書を含む)の結果を総合して行う。

(1) 実施年月日

令和6年8月20日(火)

(2) 口述試験

月 日	時 間 帯	場所(試験会場)
8 月 20 日(火)	10 時～12 時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

(3) 面接試験

月 日	時 間 帯	場所(試験会場)
8 月 20 日(火)	13 時～17 時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

6 合格発表

令和 6 年 8 月 30 日(金) 午後 4 時

※ 合格者には郵便により通知する。
また、参考情報として同時刻頃より本理学部・大学院ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

**令和 7 年度（4 月入学）
兵庫県立大学大学院理学研究科（物質科学専攻）
（博士後期課程）
社会人学生募集要項**

本大学院理学研究科（物質科学専攻）においては、下記要領により令和 7 年度（令和 7 年 4 月入学）の入学者を募集します。

1 募集人員

物質科学専攻 若干名

2 出願資格

企業・官庁等に在職している者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ、当該企業・官庁等から推薦を受けた者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和 7 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（令和 7 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者を含む。）
（下記〔注〕を参照）
- (8) 本研究科において、出願資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に 24 歳に達する者
（下記〔注〕を参照）

〔注〕 出願資格(7)、(8)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を必要とするので、該当者は、あらかじめ播磨理学キャンパス経営部学務課で「資格審査書類」の指示を受け、研究指導を希望する教授と協議し、審査を受けた上で、令和 6 年 6 月 26 日（金）までに播磨理学キャンパス経営部学務課へ提出すること。
なおこの場合は、資格審査が終了するまで出願書類の受理を保留する。

3 出願の条件

出願者は、希望する研究指導教授とあらかじめ協議のうえ出願すること。

4 出願書類等

出 願 書 類 等	備 考
①入学願書 (写真票、受験票を含む。)	本学所定の用紙を使用し、写真票及び受験票に写真を貼付のこと。
②修士・博士前期課程修了証明書	様式は任意
③学部、大学院の成績証明書	様式は任意
④受験許可書	本学所定の用紙を使用し、企業・官庁等の所属長が作成したもの。
⑤承諾書	本学所定の用紙に、本学大学院専攻(研究指導教授)の承諾を得ること。
⑥修士課程等における研究概要	本学所定の用紙に、出身大学院における研究概要を記入したもの
⑦博士後期課程における研究計画書	本学所定の用紙
⑧受験票等返送用封筒	定型封筒に郵便番号、住所及び氏名等を記入し、344 円分の切手を貼付すること。
⑨入学考査料	30,000 円 ゆうちょ銀行が令和6年7月1日以降に振り出した「普通為替証書」による。ただし、証書には何も記入しないこと。
⑩「入学手続書類」送付用封筒(角2号)	封筒に、送付を希望する住所、氏名(本学学生については学生番号及び分野名を含む)を記入する。切手は添付不要。

5 選抜方法

入学の選考は、口述試験及び書類審査の結果を総合して行う。

口述試験

月 日	時 間 帯	場所(試験会場)
令和6年8月21日(水)	10時～15時	本学播磨理学キャンパス (詳細は当日、本部棟前に掲示する。)

6 合格発表

令和6年8月30日(金) 午後4時

※ 合格者には郵便により通知する。
また、参考情報として同時刻頃より本理学部・大学院ホームページにも合格者の受験番号を掲載する。

博士前期課程、後期課程共通事項

1 出願方法

出願者は、必要書類等を一括して下記の書類等提出先へ郵送又は持参すること。

書類等提出先 〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2番1号 兵庫県立大学 播磨理学キャンパス 経営部学務課 TEL(0791)58-0102 FAX(0791)58-0131
--

郵送出願の場合は、封筒に必ず「理学研究科(物質科学専攻)社会人学生(令和7年4月入学)出願書類在中」(前期課程又は後期課程を明記すること。)と明記し、書留速達で送付すること。

2 出願期日

令和6年7月23日(火)から7月30日(火)まで

各日とも受付時間帯は、午前9時から12時まで、午後1時から4時までとする(ただし、土曜日、日曜日、祝日は除く。)

なお、郵送の場合は、令和6年7月30日(火)午後4時までに必着のこと。

3 入学料及び授業料

(令和7年度入学者徴収予定額)

区 分		入学期	4 月	計
入 学 料	甲 (県内)	282,000 円	—	282,000 円
	乙 (県外)	423,000 円	—	423,000 円
授 業 料		267,900 円	267,900 円	535,800 円

(注)

(1) 入学料、授業料の金額が改正された場合は、改正後の金額による。

(2) 甲は、次の各号のいずれかに該当する者に、乙はその他の者に適用する。

ア 入学の日(令和7年4月1日)の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

イ 配偶者又は1親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き兵庫県内に住所を有する者

ウ 兵庫県立大学の学部から本大学院博士前期課程に引き続き入学する者

(3) 兵庫県立大学の大学院博士前期課程を修了し、引き続き本大学院博士後期課程に進学する者は、下記による。

(4) この他に後援会費が必要です。

* 兵庫県立大学の大学院博士前期課程を修了し、引き続き本大学院博士後期課程に進学する者

(令和 7 年度入学者徴収予定額)

区 分	入学期	4 月	計
入 学 料	—	—	—
授 業 料	267,900 円	267,900 円	535,800 円

※、ただし、後援会費は別途必要。

4 注意事項

既に納付された入学考査料は、理由の如何にかかわらず返還しない。

長期履修制度の導入について

1. 趣旨

この制度は、職業を有している等の事情により、標準修業年限(博士前期課程2年、博士後期課程3年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象としています。事情に応じて標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができます。

2. 出願資格

長期履修学生として出願することができる者は、入学資格を有する者のうち、次のいずれかに該当する者です。

- (1) 職業を有する者(正規職員以外も含み、主としてその収入で生活を立てている者)
- (2) 育児、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者
- (3) 病気等その他やむをえない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると研究科が認めた者

3. 履修期間

長期履修学生の履修期間は、博士前期課程(修士課程)にあつては3年以上4年まで、博士後期課程にあつては、4年以上6年までとなります。なお、長期履修を認める期間は1年単位です。

4. 長期履修制度に係る授業料

兵庫県立学校授業料等徴収条例で定められた大学の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修学生として認められた履修期間(以下、「長期履修期間」という)の年数で除した額とします。

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合は、再計算されます。

$$\text{長期履修学生の年間の授業料} = \frac{\text{通常の授業料} \times \text{標準修業年限}}{\text{長期履修期間の年数}}$$

5. 長期履修期間の延長

長期履修期間の延長は、認められません。

6. 長期履修期間の短縮

長期履修学生が長期履修期間を満了しないうちに課程を修了する必要単位数を取得する見込みのある場合は、長期履修期間の短縮をすることができます。

なお、履修期間を短縮する場合は、短縮を認められるときに短縮に係る授業料の差額が必要となります。

※ 長期履修を希望する者は、事前に志望分野の教授の説明を受けること。

物質科学専攻分野研究一覧

令和6年4月現在

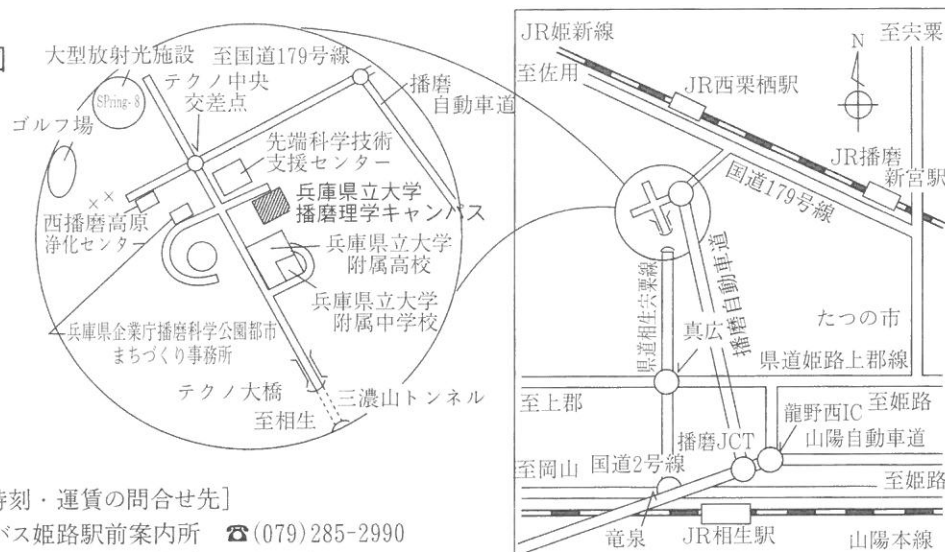
専攻	部門	分野	研究内容
物質科学専攻	物質基礎解析学	応用数学 教授 草部 浩一	- 量子シミュレーションによるマテリアルズインフォマティクス - 強相関電子系における超伝導と磁性の理論 - 原子層物質によるスピントロニクス素子と量子計算素子の設計 - 原子層物質による化学反応触媒の設計と応用
		数理解析学 教授 坂井 徹 准教授 中野 博生	- 強相関電子系・量子スピン系の磁性 - 強相関電子系の金属絶縁体転移 - スーパーコンピュータを用いた大規模並列シミュレーション
		数理科学 I 教授 加藤 正和 教授 永安 聖 准教授 平野 克博 准教授 光明 新	- 非線形偏微分方程式の解の大域挙動と爆発現象の解析 - 偏微分方程式の逆問題 - 確率解析とその応用 - 接続のモジュライ空間を用いたモノドロミー保存変形の研究
		数理科学 II 教授 守屋 克洋 教授 川久保 哲 准教授 山内 淳生 准教授 只野 之英	- 曲面のはめ込みの微分幾何学 - 曲線の微分幾何・変分問題の研究 - 保型形式の算術性 - 量子力学のスペクトル・散乱理論
		情報理学研究室 教授 大岩 和弘 准教授 尾嶋 拓	- 分子動力学シミュレーションを用いた生体分子メカニズムの解明 - スーパーコンピュータを用いた創薬応用計算および材料科学計算 - 拡張アンサンブル法や機械学習に基づいた計算アルゴリズムの開発 - 大規模並列計算用シミュレーションソフトの開発
	物質機能解析学	電子物性学 教授 宮坂 茂樹 准教授 山口 明	- 強相関電子系の物質合成による新たな超伝導や磁性現象等の探索 - 超低温下での超伝導体、磁性体の輸送現象と磁性に関する研究 - 分光測定を用いた強相関電子系の電子物性の研究 - 放射光を用いた極低温ヘリウム凝縮系の研究
		電磁物性学 教授 水戸 毅 准教授 中井 祐介	- 核磁気共鳴による強相関電子系の磁性や超伝導研究 - ランタノイド、アクチノイド化合物の特異な物性研究 - 低次元物質、ナノ粒子の核磁気共鳴による研究 - Dirac 電子系、トポロジカル絶縁体系の物性研究
		量子物性学 教授 小林 寿夫 准教授 小泉 昭久	- 放射光の散乱、吸収実験による磁性体、超伝導体の電子状態研究 - 放射光を用いた実験手法による多重極限（低温・高圧力・強磁場）環境下における金属間化合物の新規相転移の研究 - 高圧力下メスバウアー分光法による磁性体、超伝導体の研究
		光物性学 教授 田中 義人 准教授 石川 潔	- X線からテラヘルツ光におよぶ広帯域光物性計測技術の開発研究 - パルスレーザーおよび放射光利用による物質の超高速光応答の研究 - レーザーと放射光の融合による新しいコヒーレント光源開発研究 - レーザー核スピン偏極とそれを用いた精密NMR計測

物質科学専攻	物質機能解析学	エックス線光学 教 授 籠島 靖 准教授 津坂 佳幸	・ X線光学の基礎研究 ・ 高性能X線顕微鏡の開発とその物質及び生命科学への応用研究 ・ シンクロトン放射光利用による材料評価及びイメージ技術の開発研究
		(協力分野) 光学赤外線天文学 教 授 伊藤 洋一 准教授 本田 敏志	・ 星惑星形成領域の観測的研究 ・ 太陽系外惑星の観測的研究 ・ 太陽系内天体の観測的研究 ・ 恒星の観測的研究 ・ 天体観測装置の開発
	物質構造制御学	機能性物質学 I 教 授 江口 律子 准教授 小簀 剛	・ 有機・無機二次元層状物質の物性制御に関する研究 ・ 有機電界効果トランジスタを利用したセンサーデバイスに関する研究 ・ 有機プラズモニクスの創成を目指した研究
		機能性物質学 II 教 授 吾郷 友宏 准教授 久保 和也	・ 典型元素の特徴を活かした発光性有機化合物の開発と応用 ・ 光電子機能を持つ開殻性有機分子の開発研究 ・ 耐熱性、超撥水撥油性、低誘電性、高透明性を併せ持つ機能性高分子の開発 ・ 分子性導体の新規構成分子開発 ・ 液晶性エレクトロクロミック金属錯体の開発 ・ 柔粘性結晶を用いた分子性マルチフェロイクス材料の開発 ・ 三次元ヘテロπ電子系化合物の合成法開拓と機能化 ・ 光学活性な金属錯体を用いた円偏光リン光材料開発と学理構築
		極限状態物性学 教 授 和達 大樹	・ レーザーとX線による強相関電子系・磁性体の電子状態研究 ・ レーザーとX線による時間・空間分解測定の研究 ・ 生体関連物質などの新規磁性体の研究
		構造物性学 教 授 阿部 正明 准教授 小澤 芳樹	・ 遷移金属・希土類元素を用いた電子・磁気・発光材料の創製 ・ 弱い相互作用に基づくネットワーク結晶の開発と機能開拓 ・ 高圧環境下のクラスター・集積型金属錯体の構造と発光性 ・ 基板表面・界面への分子集積化によるデバイス・メモリ開発
	物質反応解析学	物質反応論 I 教 授 竹内 佐年 准教授 下條 竜夫	・ 極短パルス光の発生・評価と超高速分子過程の研究 ・ 走査トンネル顕微鏡を用いた単分子ダイナミクス観測方法論の研究 ・ 光イオン化解離ダイナミクスの研究 ・ 気相化学反応ダイナミクスの研究
		物質反応論 II 教 授 三宅 由寛 准教授 藤田 守文	・ 新奇π共役有機分子の創成と機能の探求 ・ 電子材料や生体材料への応用を目指したπ共役分子の機能開拓 ・ π共役分子の性質を生かした触媒機能の創出 ・ 超原子価ヨウ素を用いた有機合成反応の開発 ・ キラル有機分子触媒の開発

		化学分析学 教 授 安川 智之 准教授 鈴木 雅登	・電気化学および関連技術による高感度バイオセンサの開発 ・極微小電極アレイを用いた局所化学分析 ・誘電泳動や電気回転による細胞操作を利用したバイオセンシング法の開発 ・細胞や生体のシグナル変換の仕組みを利用した新規分析法の研究
連携大学院	物質基礎解析学	量子シミュレーション科学 客員准教授 野村 拓司 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕）	・量子多体系の理論・シミュレーション研究 ・強相関電子系における、磁性、超伝導、X線分光の理論 ・固体電子状態の理論・バンド計算
	物質機能解析学	放射光電子構造学 客員教授 藤森 伸一 客員准教授 川崎 郁斗 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕）	・放射光X線光電子分光法を利用した強相関電子系の電子状態研究 ・放射光X線分光を利用した先端基礎材料の電子状態研究 ・放射光を利用した光電子分光法による強相関電子系の電子構造研究 ・放射光X線分光による強相関電子系の磁性研究 ・光電子分光や強磁場下でのX線分光の測定技術開発
	物質構造制御学	表面界面物性学 客員准教授 佐々木 拓生 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 （佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕）	・放射光X線を利用した表面・界面・薄膜の構造解析 ・放射光X線を利用した結晶成長ダイナミクスの研究 ・放射光コヒーレントX線を利用した新規計測法の開発と物質科学への応用 ・分子線エピタキシー法による原子層制御結晶成長 ・量子井戸・量子細線・量子ドットなどナノ構造物質の開発と物性
		放射光高圧物質科学 客員教授 綿貫 徹 客員准教授 齋藤 寛之 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（佐用町光都〔播磨科学公園都市内〕）	・放射光を利用した金属水素化物などの新規機能性材料の高温高压合成 ・放射光を用いた高圧下の物質の構造・物性の研究

理学部試験会場（播磨理学キャンパス）案内図

(1) 所在地略図



[バス時刻・運賃の問合せ先]

神姫バス姫路駅前案内所 ☎(079)285-2990

神姫バス相生営業所 ☎(0791)22-5180

JR相生駅南側より播磨科学公園都市（SPRING-8）行き神姫バス乗車「県立大理学部前」下車（乗車時間約30分）（1日約30便）

JR播磨新宮駅前より播磨科学公園都市行き神姫バス乗車「テクノ中央」下車（乗車時間約20分）（1日4便）

(2) 建物配置図



令和7年度（4月入学）

兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
博士前期課程 社会人学生 入学願書

受験番号	※		志望専攻	専攻			
フリガナ						本籍	県名 (外国人の場合は国名)
氏名							〔 〕
生年月日	西暦	年	月	日生	歳		
出願資格	大学学部科 西暦 年 月 日 卒業・卒業見込						
第1志望分野				第2志望分野			
第3志望分野				※第3志望まで記入のこと。 記入のない場合は、志望がないものとみなす。			
本人の住所	〒 電話 () -					入学査料 領収印	
父母等 連絡先	氏名			志願者との続柄			※
	現住所	〒 電話 () -					

※裏面もすべて記入すること。

令和7年度（4月入学）

兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
博士前期課程 社会人学生 写真票

受験番号	※		
フリガナ			
氏名			
生年月日	西暦	年	月 日生
出身大学	大学	学部	科
写真貼付欄 受験票に貼付したものと同一であること。 入学査料 領収印			

令和7年度（4月入学）

兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
博士前期課程 社会人学生 受験票

受験番号	※		
フリガナ			
氏名			
生年月日	西暦	年	月 日生
出身大学	大学	学部	科
写真貼付欄 写真（出願前3か月以内に撮影した正面無帽上半身タテ4.5cmヨコ3.5cm）を貼付すること。 入学査料 領収印			

学歴	西暦 年 月	大学入学	◎注 意 1 研究科名、性別、本籍及び出願資格の欄の該当文字を○で囲むこと。 2 ※印のところは記入しないこと。 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること。 4 学歴は大学入学時から記入すること。 5 この用紙は切り離さないこと。
	西暦 年 月	大学卒業 (見込)	
	西暦 年 月		
	西暦 年 月		
	西暦 年 月		
	西暦 年 月		
職歴	西暦 年 月		
	西暦 年 月		
	西暦 年 月		
	西暦 年 月		
	西暦 年 月		

前社

受 験 許 可 書

兵庫県立大学長 様

このたび、_____が兵庫県立大学大学院理学研究科

_____専攻（博士前期課程）を受験することを許可します。

なお、本人が兵庫県立大学大学院理学研究科に入学した場合は、
在職のまま在学することを認めます。

令和 年 月 日

（所属・職名）

（氏 名）

印

志 望 調 書

志望専攻名

氏 名

研究したい題目

飛び級して博士前期課程を志望する理由：

飛び級：出願資格(10)による者のみ提出すること

前 社

志 望 理 由 書

志望研究科名	理学研究科 物質科学専攻
--------	--------------

企業・官庁等名	
所 属 部 課 名	
役 職 名	

ふりがな	
氏 名 (和文名)	

志望理由

--

(注) 志願者が自筆又は word 等で 10 ポイント以上の大きさの文字で記入すること。

前 社

博士前期課程における研究計画書

専攻

氏 名

研究題目

研究計画

入学試験出願資格認定申請書

兵庫県立大学大学院 _____ 理学研究科長 様

兵庫県立大学大学院理学研究科（ _____ 専攻）（ _____ 課程） _____ 入学試験に出願を希望します。

ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな

氏 名 _____ 印 _____ 男・女
_____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳）

現 住 所		TEL (_____) _____
現 職	勤 務 先	
	職 名	
	所 在 地	TEL (_____) _____
学 歴（高等学校卒業から詳細に記入願います。）		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		高等学校卒業
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
職 歴（研究・開発の業務内容がわかるように詳細に記入願います。）		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
学 会 そ の 他 に お け る 活 動 状 況		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
志望分野名（カッコ書きで担当教授名も記入願います。）		
第 1 志 望		
第 2 志 望		
第 3 志 望		

認定

研究活動報告書（その１）

氏名 _____

研究活動報告書（その２）

氏名 _____

著者・学術論文等の題名（注）	著者名又は発表者名	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	巻、号、頁（年）又は発表の年月

令和7年度（4月入学）

兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
博士後期課程 社会人学生 入学願書

受験番号	※		志望専攻	専攻		
フリガナ						本 籍 （外国人の場合は国名） 〔 〕
氏名						
生年月日	西暦	年	月	日生	歳性別男・女	
出願資格	大学学部科 西暦年 月 日卒業・卒業見込					
第1志望分野			第2志望分野			
第3志望分野			※第3志望まで記入のこと。 記入のない場合は、志望がないものとみなす。			
本人の住所	〒 電話（ ） ー				入学査料 領収印	
父母等 連絡先	氏名			志願者との続柄	※	
	現住所	〒 電話（ ） ー				

※裏面もすべて記入すること。

令和7年度（4月入学）

兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
博士後期課程 社会人学生 写真票

受験番号	※		
フリガナ			
氏名			
生年月日	西暦	年	月 日生
出身大学	大学	学部	科
写真貼付欄 受験票に貼付した ものと同一である こと。 入学査料 領収印			

令和7年度（4月入学）

兵庫県立大学大学院理学研究科(物質科学専攻)
博士後期課程 社会人学生 受験票

受験番号	※		
フリガナ			
氏名			
生年月日	西暦	年	月 日生
出身大学	大学	学部	科
写真貼付欄 写真（出願前3か月 以内に撮影した正面 無帽上半身タテ4.5cm ヨコ3.5cm）を貼付す ること。 入学査料 領収印			

学歴	西暦	年	月	大学入学	◎注 意 1 性別及び出願資格の欄の該当文字を○で囲むこと。 2 ※印のところは記入しないこと。 3 黒のペン又はボールペンで丁寧に記入すること。 4 学歴は大学入学時から記入すること。 5 この用紙は <u>切り離さないこと</u> 。
	西暦	年	月	大学卒業 (見込)	
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
職歴	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		
	西暦	年	月		

後 社

受 験 許 可 書

兵庫県立大学長 様

このたび、_____が兵庫県立大学大学院理学研究科

_____専攻（博士後期課程）を受験することを許可します。

なお、本人が兵庫県立大学大学院理学研究科に入学した場合は、在職のまま在学することを認めます。

令和 年 月 日

（所属・職名）

（氏 名）

印

後 社

承 諾 書

志願者氏名 _____

上記の者が、兵庫県立大学大学院理学研究科 _____ 専攻に
入学した場合、その研究指導を行うことを承諾する。

令和 年 月 日

兵庫県立大学大学院 _____ 理学研究科

研究指導教授 _____ 印

後社

修士課程等における研究概要

修士課程等

専攻

氏 名

研究題目

研究概要

後 社

博士後期課程における研究計画書

専攻

氏 名

研究題目

研究計画

入学試験出願資格認定申請書

兵庫県立大学大学院 _____ 理学研究科長 様

兵庫県立大学大学院理学研究科（ _____ 専攻）（ _____ 課程） _____ 入学試験に出願を希望します。

ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな

氏 名 _____ 印 _____ 男・女
_____ 年 _____ 月 _____ 日生（ _____ 歳）

現 住 所		TEL (_____) _____
現 職	勤 務 先	
	職 名	
	所 在 地	TEL (_____) _____
学 歴（高等学校卒業から詳細に記入願います。）		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		高等学校卒業
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
職 歴（研究・開発の業務内容がわかるように詳細に記入願います。）		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
学 会 そ の 他 に お け る 活 動 状 況		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
_____ 年 _____ 月 _____ 日		
志望分野名（カッコ書きで担当教授名も記入願います。）		
第 1 志 望		
第 2 志 望		
第 3 志 望		

認定

研究活動報告書（その１）

氏名 _____

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting or drawing. There are no margins, text, or other markings on the paper.

研究活動報告書（その２）

氏名 _____

著書・学術論文等の題名（注）	著者名又は発表者名	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称	巻、号、頁（年）又は発表の年月